資料４

「令和７年度における統計リソースの重点的な配分に関する建議」に向けた検討メモ

令和６年４月 17 日
統計委員会委員長 椿広計

○　建議には、第Ⅳ期公的統計基本計画に記載されている各府省の取組を引き続きサポートしていく観点から、以下の事項を盛り込むこととしてはどうか。

・第Ⅳ期基本計画の具体化のためにリソースが必要となる事項の例

社会経済の変化に的確に対応する公的統計の整備（ＱＥの推計精度向上（基礎統計の整備を含む）、ＳＵＴ体系への移行、経済のデジタル化の把握等）

統計の国際比較可能性の向上（国際基準策定プロセスへの参画、ＳＤＧｓに関連した指標の整備等）

統計データの利活用促進（ｅ－Ｓｔａｔ等の機能向上、調査票情報等の提供及び活用の推進等）

品質の高い統計作成のための基盤整備（ＰＤＣＡサイクルの定着、統計作成プロセス標準化や信頼性の確保に資するシステム整備、国・地方の統計職員の確保・育成、統計調査員に対する支援、調査環境改善のための普及啓発活動等）

デジタル技術や多様な情報源の活用等による正確かつ効率的な統計作成（オンライン回答率向上のためのシステムの利便性向上、ビッグデータや行政記録情報等の活用・研究等）

・各方面から新たに／深掘りを求められている事項でリソースが必要なものの例

統計調査員の支援（手当額の見直しによる処遇改善）

○　各府省内の予算要求の取りまとめ手続等を踏まえ、昨年度と同様のスケジュールで検討することとしてはどうか。

４月 17 日	建議に盛り込むべき事項を統計委員会で議論
４月下旬	建議素案を委員に提示、委員意見の受付（メール対応）
５月下旬	意見を踏まえた建議案を統計委員会で議論 →取りまとめ